



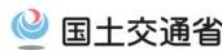
令和6年12月20日
大臣官房技術調査課
大臣官房公共事業調査室

インフラ DX に関する優れた取組を行った 26 団体を発表！
～令和6年度 インフラ DX 大賞の受賞者を発表します～

○工事・業務部門

NO	表彰の種類	業者名	工事／業務名	発注地域等
1	国土交通大臣賞	福留開発株式会社	令和4～5年度 仁淀川中島地区下流護岸外(その1)工事	四国
2	優秀賞	村上土建開発工業株式会社	十勝川改修工事の内 西土狩築堤河岸保護外工事	北海道
3	優秀賞	鹿島・前田・竹中土木特定建設工事共同企業体	成瀬ダム堤体打設工事(第1期)	東北
4	優秀賞	高田機工(株)仙台営業所	国道4号 箱堤高架橋上部工工事	東北
5	優秀賞	アジア航測株式会社	R4利根砂防管内自律飛行型UAVによる点検計画検討業務	関東
6	優秀賞	株式会社浜屋組	R4矢板出張所管内路面補修工事	関東
7	優秀賞	敦賀旭土建株式会社	敦賀港(鞠山北地区)防波堤(改良)基礎工事(その2)	北陸
8	優秀賞	賞 株式会社市川工務店	令和4年度 一般県道松原芋島線川島大橋下部工事	中部
9	優秀賞	株式会社小森組	すさみ串本道路田並地区他整備工事	近畿

9.すさみ串本道路田並地区他整備工事

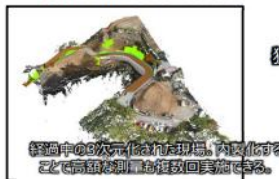


推薦者	近畿地方整備局
発注者	近畿地方整備局 紀南河川国道事務所
業者名	(株)小森組
工期	2023年4月3日～2024年3月29日
施工場所	和歌山県東牟婁郡串本町
請負金額	280,390,000円

【取組概要】

工事箇所が複数に点在する中、供用開始を急ぐ路線であるため、技術者の負担軽減と工程短縮が課題で、最もウェイトが大きい主要現場は縦断勾配が厳しく、狭所でS字線形のため、補強土壁の床付け面が急傾斜な螺旋階段のように仕上げる必要があった。

測量や丁張の設置回数が非常に多く、大型機械も投入できないため、0.1m3級のバックホウ（以下BH）から徐々に幅員を広げ、大型化することにより、本現場の工程短縮を実現。



- 3次元設計データを元に、施工方法のバーチャルシミュレーションを行い、0.1m3級BH（自動追尾式MG）を用いたパイロット道路の開削、その後0.25m3級BH（自動追尾式MG）で床掘を行うなど大小の自社ICT建機を使い分けし、主要作業はICT建機のみで施工するとともに、3Dデータから防護柵基礎工における基礎・敷板を割付し、現場打ちをプレキャスト化することで、約43日の工程短縮（ICT施工▲約23日・プレキャスト化▲約20日）を実現。
- 3Dデータを中心に様々なデバイスや工夫を駆使し、若手技術者にも分かりやすいように業務を易化し、内製で行った先進的な取り組み。